



昨年からコンシェルジュを務める鳴海仁さん（写真右）に4月から高岡展子さん（写真左）が加わり、観光案内などを行っています。

キラリ
十和田
人
— 第27回 —

hakocco. (ハコッコ)

お客様に「いいね」と
言っていただけのような
場所にしたいですね

MEMO

奥入瀬・十和田湖の情報をメインとした奥入瀬エリアインフォメーション。何にも染まっていない「白い箱」が四季折々に移り変わる美しい景色に染まるようにと願いを込めて、南部弁の「はこっこ（箱）」の愛称が付けられました。

問奥入瀬インフォメーション “hakocco. (ハコッコ)”
☎️ 2700 (午前9時～午後5時)

十和田湖温泉スキー場駐車場の一角にある箱のような白い建物。建物のドアを開けると、中には所狭しと並べられた観光パンフレットの数々、そして、何でも聞いてくださいと言わんばかりに奥入瀬観光コンシェルジュの皆さんが笑顔で出迎えてくれます。

この白い建物（箱）、「ハコッコ」は、昨年6月に奥入瀬エリアの観光総合案内所としてオープン。奥入瀬溪流・十和田湖へのアクセスや焼山地区の宿泊案内など手広く観光案内を行っています。

コンシェルジュの一人、鳴海さんは地元・焼山の出身。「昔はたくさんのお客様が来て活気がありましたが、住民も多かったです。焼山に小中学校がありましたからね」と、自身の小さい頃の様子を懐かしそうに振り返り、「焼山を元気にしたい」という思いが強いと話します。

「焼山は自然に囲まれていて、移り変わる四季の美しさはもちろんですが、何よりも交通面の優位性があります。青森県の中心に位置していますので、ここから市中心部はもろん八甲田、十和田湖、弘前方面などいろいろな方向に車で約1時間で行くことができます。観光地を巡った後は、温泉に入っって、自然を楽しみながらゆっくりと疲れを取ってほしいですね」と、焼山の魅力を強調。

焼山に少しでも滞在して楽しんで欲しいという思いから隣の公園内に足湯をオープン。気軽に十和田湖温泉郷のお湯を楽しめることもあり、昨年度は約7千人が利用しました。

「何よりも、おもてなしの心を大切にしていきたいですね。昨年、好評を博したフラワーロードや冬のイルミネーション、キッズパークなどを手伝いながらトイレなど周辺の環境整備をきちんと行って、お客様には気持ちよく滞在してもらい、気持ちよく帰っていただきたいです」と、焼山を元気にするための意気込みを力強く話しました。

hot ひと息…



ハコッコ隣の公園では源泉（猿倉温泉混合泉）かけ流しの足湯が無料でお楽しみいただけます。

▶利用時間 午前9時～午後5時